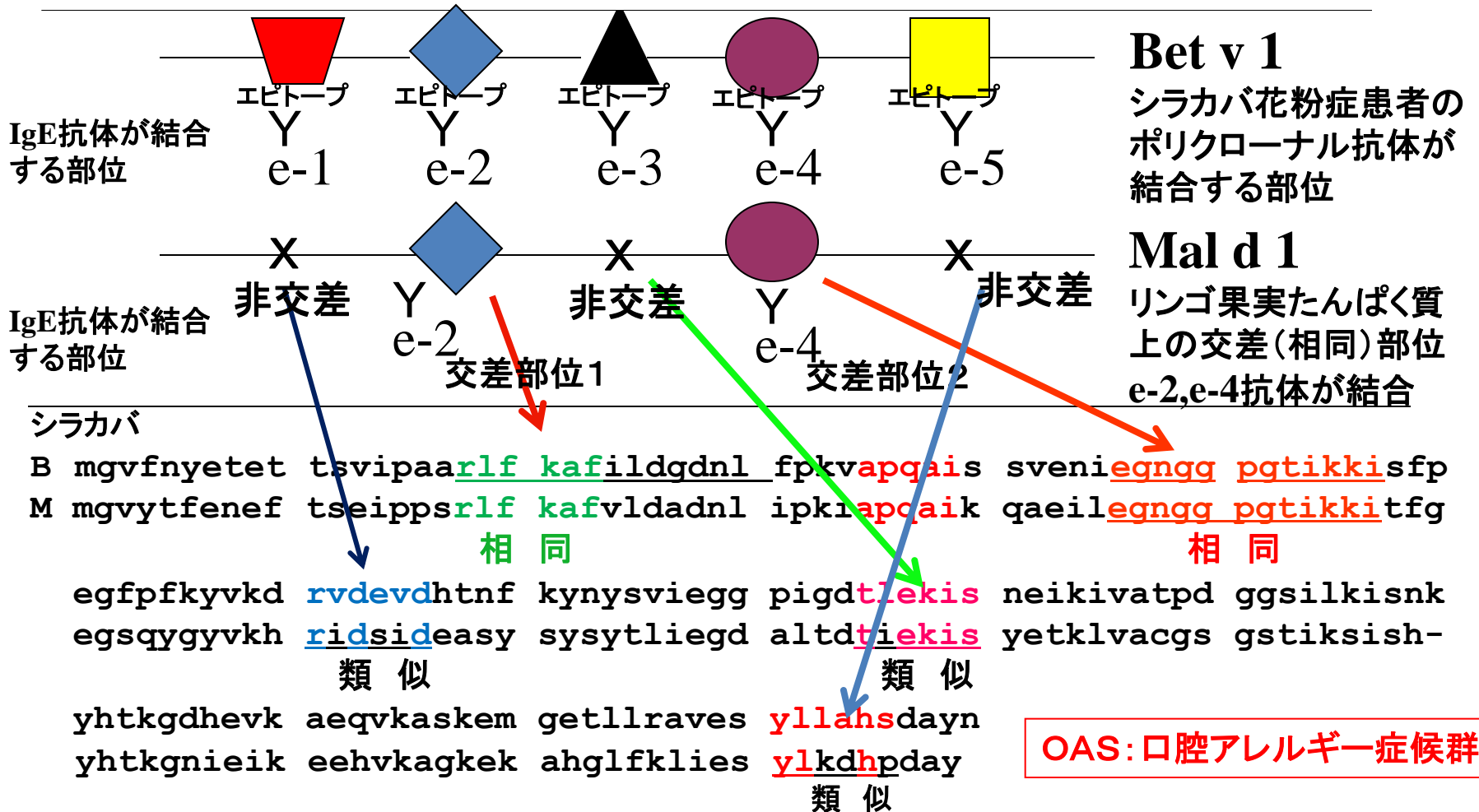


図7

仮説：リンゴを食べてOASを発症したシラカバ花粉症患者について

—交差反応の模式図: Bet v 1と相同なリンゴ中のたんぱく質 Mal d 1の交差—
患者血清中の花粉アレルゲン・Bet v 1 に特異的なIgE抗体 (e-1~e-5)のうち、
リンゴたんぱく質分子・Mal d 1上の相同部位を認識しうるIgE抗体 (e-2, e-4)の存在
により、アレルギー臨床症状が惹起される



B: 遺伝子(cDNA)より解読されたシラカバアレルゲン(Bet v 1)の一次構造(アミノ酸配列) **相同率70%**
M: 遺伝子(cDNA)より解読されたリンゴたんぱく質(Mal d 1)の一次構造(アミノ酸配列)